

AKIBA HOLDINGS

2024年 3 月期

第 2 四半期決算説明資料

2023年11月10日

1. トピックス・概況
2. 2024年3月期第2四半期決算
3. 2024年3月期業績予想
4. セグメント別概況

5. 参考資料

AKIBAホールディングスグループ 会社説明

※資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円

01

トピックス・概況



前年同期と同様の水準の売上及び利益を維持

2Q累計期間で、当社修正予想を上回る結果を確保

通信建設テック事業及びHPC事業が引き続き好調に推移し、2Q累計期間において、当社修正予想を上回る結果を確保。なお、通期については、不透明感が存在するため通期業績予想は据え置き

経済環境の変化に対応し
骨太な事業基盤を構築

経済環境・社会環境の変化から不透明感が存在するため、先行きに対し注視が必要なものの、環境変化に対応したビジネスモデルの組み換えを実施し、安定した収益の獲得が可能な骨太な事業基盤の整備を引き続き推進

代表取締役社長を交代

事業の更なる成長を図るため、代表取締役副社長兼経営戦略本部長でありました堀礼一郎が、本年6月26日をもって代表取締役社長に就任いたしました。堀は当社子会社であります株式会社バディネットの創業社長であり、豊富な事業経験・経営経験を有しております

今期からセグメント名の変更を実施

現在の各事業セグメントの事業内容に従い、メモリ・PC関連デバイス・IoT事業(旧メモリ製品製造販売事業)、通信建設テック事業(旧通信コンサルティング事業)へと一部セグメント名を変更

収益機会の拡大を目指し、引き続き更なる事業基盤の強化を推進

2024年3月期においては、コロナ禍及びウクライナ情勢等に影響を受けた世界経済は、回復基調にはあるものの、依然、マーケット環境・為替状況の急激な変化から不確実性が強く、先行きが不透明であり、不安定な事業環境が継続するものと認識しております。

このような中、本第2四半期では、売上及び各段階利益とも堅調に推移して参りました。

引き続き、経済環境の変化に対し注視を要しますが、事業規模のベースの底上げにより売上高については前期から増収を見込み、各段階利益については、更なる事業の成長を図るための投資に要する費用を見込んだこと等から、前期に比べ減益と予想しております。

今後も、新規商材の投入、成長事業への戦略投資、事業執行体制の整備により、更なる収益基盤の強化を推進してまいります。

	2023/3 2 Q実績	2024/3 2 Q実績	前期比	2024/3 予想	前期比
売上高	6,677	7,208	107.9%	18,500	123.3%
営業利益	459	422	91.9%	1,000	94.0%
経常利益	422	409	96.8%	950	92.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	276	249	90.0%	600	85.5%
一株当たり 四半期純利益	30.12円	27.12円		65.32円	

※本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません

02

2024年3月期第2四半期決算



**AKIBA** HOLDINGS

メモリ・PC関連デバイス・IoT

**株式会社アドテック**

メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業 等

通信建設テック

**株式会社バディネット、株式会社リーバン**

通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等

H P C
(高性能科学技術計算機)**株式会社H P C テック**

高性能計算機の開発・製造及び販売事業

その他
(旅館ほか)**Diamond pets & resort****株式会社ダイヤモンドペット&リゾート**

旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業 等

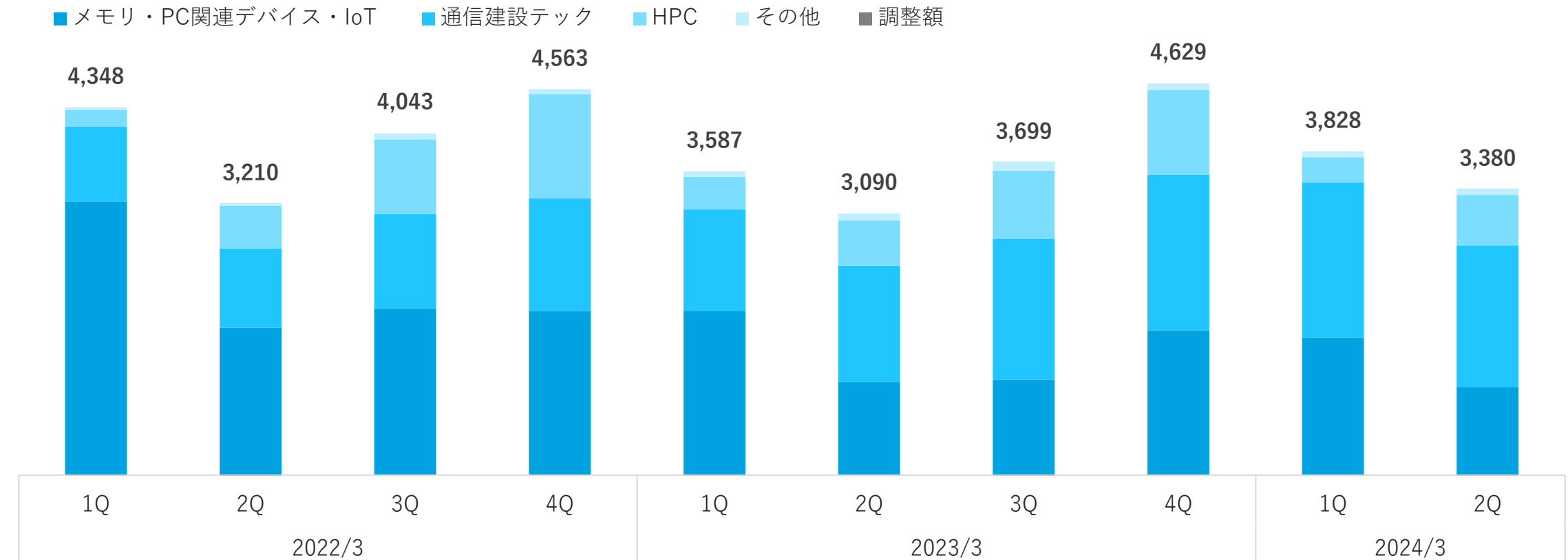


通信建設テック事業・HPC事業が好調に推移するものの、メモリ・PC関連デバイス・IoT事業の収益獲得の遅れにより**売上は増収も減益**

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	トピックス
連結	7,208	107.9%	422	91.9%	
メモリ・PC関連デバイス ・IoT	2,664	87.7%	△22	—	メモリ関連製品の需要減及び成長投資の実施により減収減益
通信建設テック	3,511	135.9%	285	117.0%	通信設備の更新工事等が順調に進み前期同Qに比べ大幅に成長
H P C (高性能科学技術計算機)	897	97.6%	95	116.1%	前期から推進の収益力改善努力が功を結び前期同Qに比べ減収も利益増
その他 (旅館ほか)	134	97.9%	64	114.1%	(全社費用等の調整額を含む)

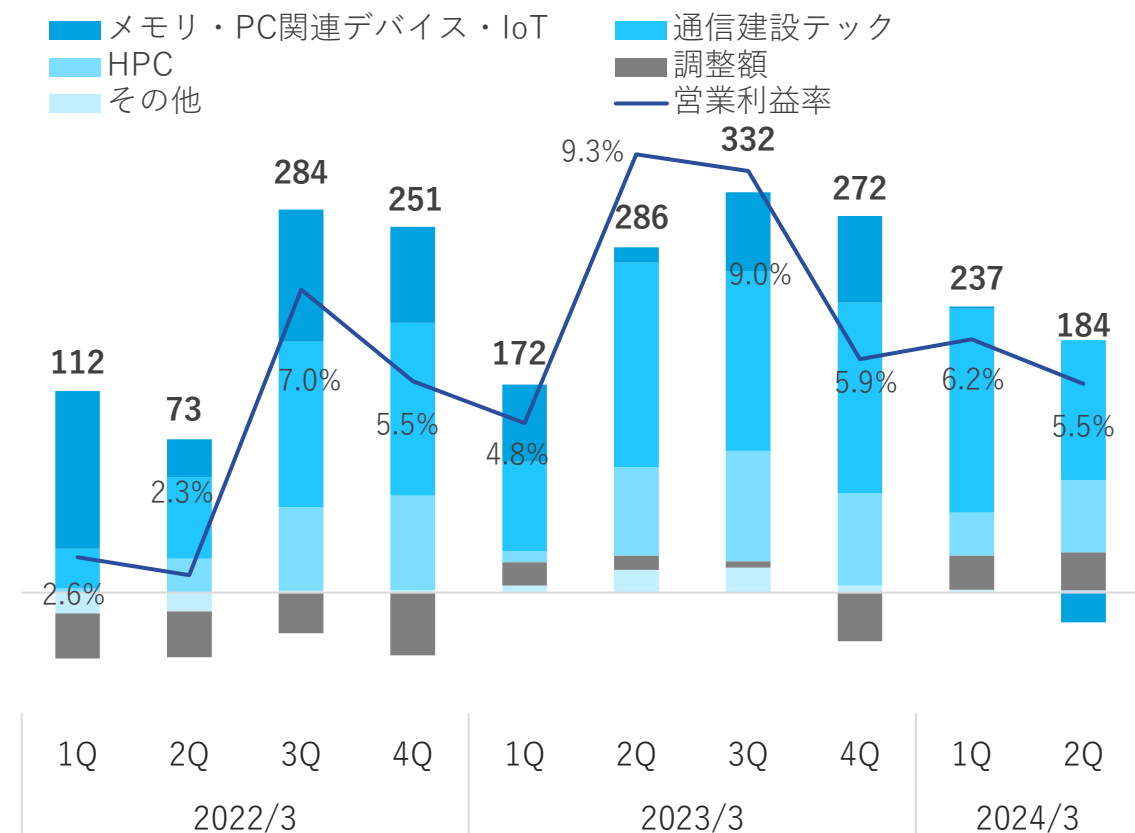
堅調に売上高を積み上げ

連結売上高

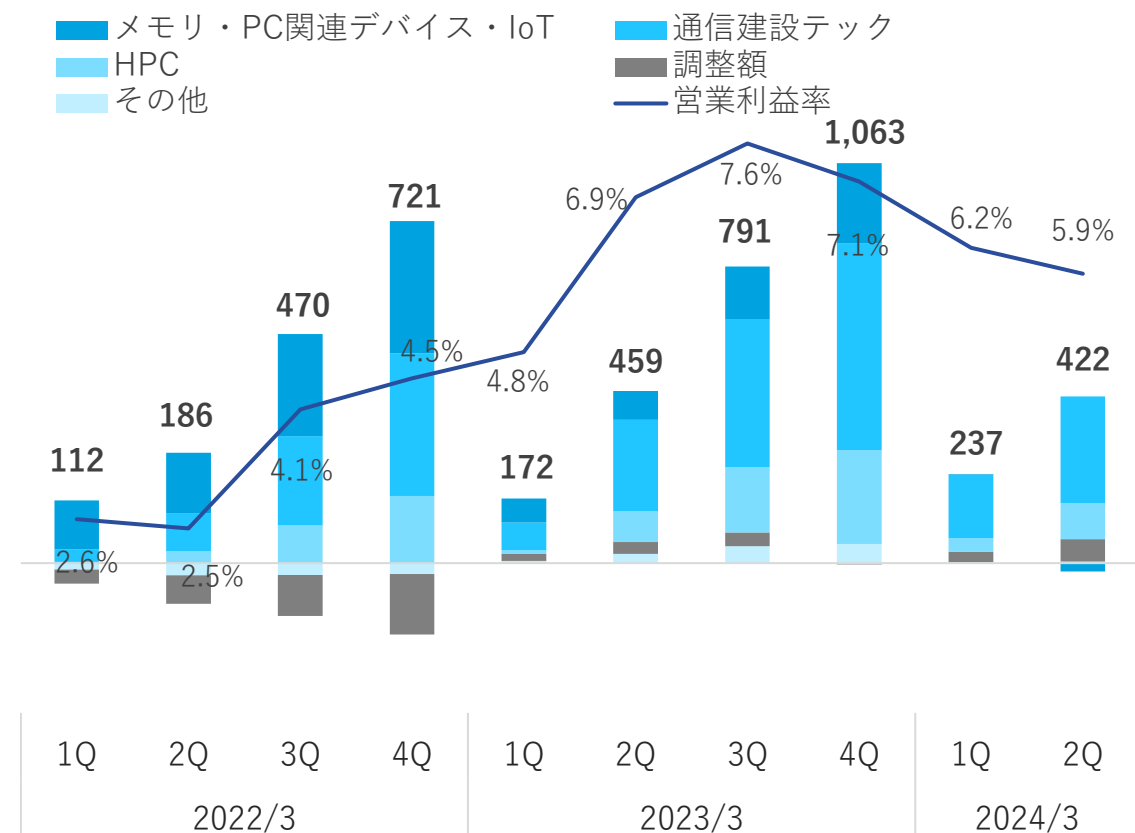


前Qに引き続き堅調に営業利益を確保

連結営業利益 会計期間

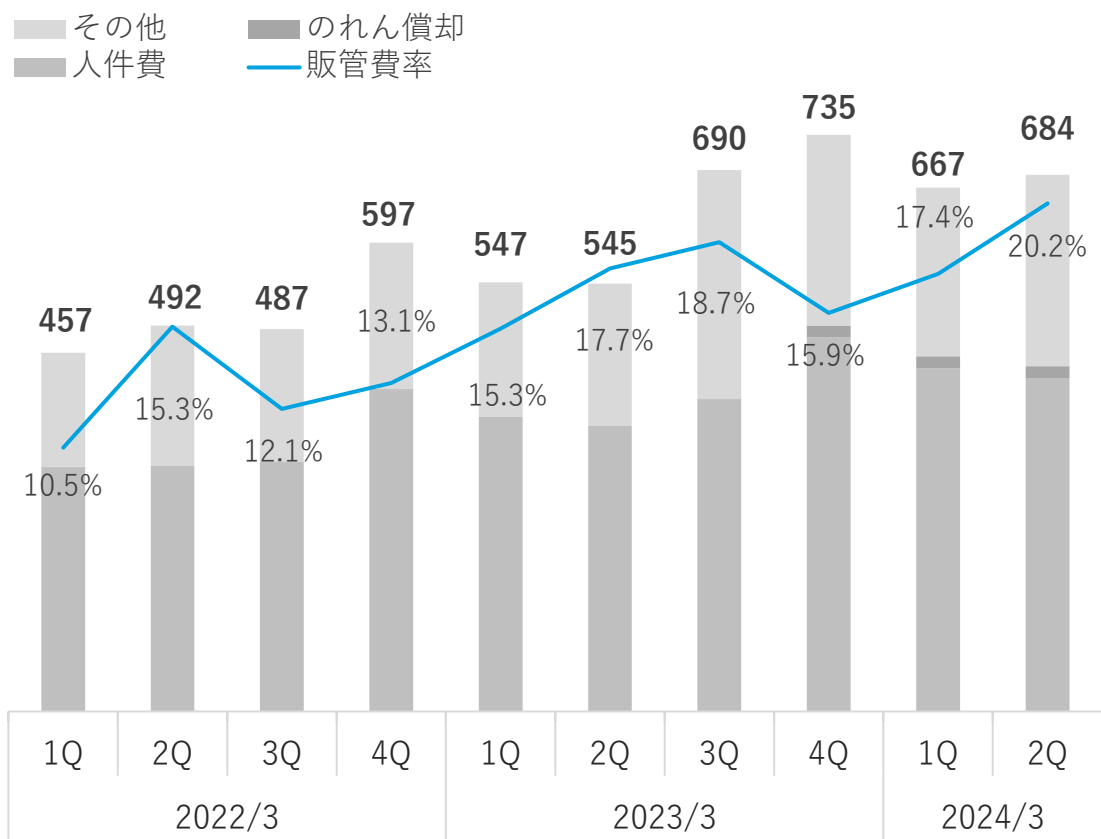


連結営業利益 累計期間

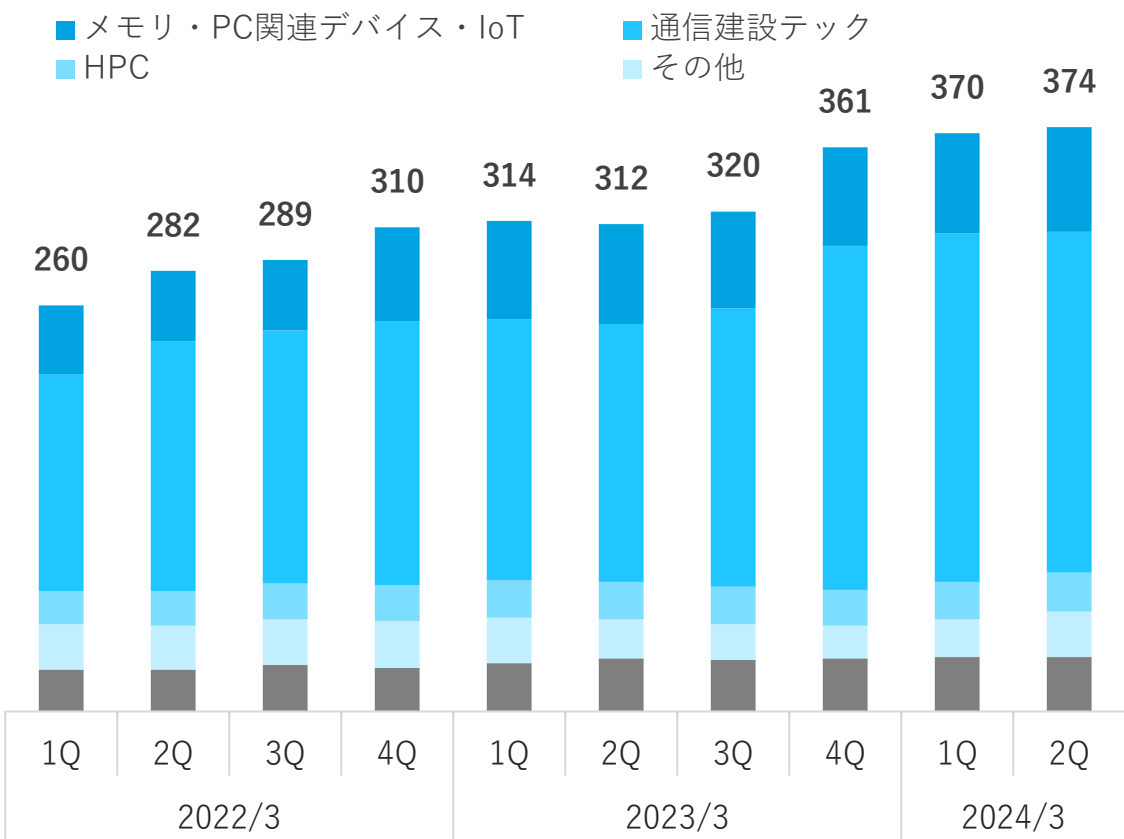


事業規模の拡大を図るため、積極的な人材の確保を引き続き推進

販売費及び一般管理費



役職員数（人）



前期末とほぼ同規模のB/Sを維持

- 成長のための事業投資資金を確保するため、有利子負債が前期末に比べ約4億1千万円増加
- 売掛金の回収及び、買掛金残高の整理が進捗
- 順調な利益の積み上げにより、株主資本が増加

連結貸借対照表

	2023/3	2024/3 2Q	前期末比
流動資産	9,317	9,271	99.5%
現預金	3,444	3,539	102.8%
売掛債権	4,283	3,862	90.2%
棚卸資産	1,418	1,619	114.2%
固定資産	819	841	102.7%
資産合計	10,136	10,112	99.8%
流動負債	5,798	5,714	98.5%
短期借入金	3,050	3,750	123.0%
一年以内返済予定 長期借入金	444	386	87.0%
買掛金	1,430	960	67.1%
固定負債	910	694	76.3%
長期借入金	702	477	68.0%
負債合計	6,709	6,408	95.5%
株主資本	3,126	3,375	108.0%
資本金	100	100	100.0%
利益剰余金	2,245	2,494	111.1%
負債・純資産合計	10,136	10,112	99.8%

売上高については増収も、利益ベースでは前年同期に比べ減益

- 通信建設テック事業・HPC事業が好調に推移し利益を下支えするものの、メモリ・PC関連デバイス・IoT事業の不調により売上は増収も減益
- 事業規模拡大のための人員の確保のほか、事業基盤の強化のための成長投資、M&Aにより取得した子会社ののれん償却などの影響により販管費が増加

連結損益計算書

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前期比
売上高	6,677	7,208	107.9%
売上原価	5,125	5,434	106.0%
売上総利益	1,552	1,774	114.3%
販売費及び一般管理費	1,092	1,351	123.7%
営業利益	459	422	91.9%
営業外収益	6	2	44.1%
営業外費用	42	15	36.2%
経常利益	422	409	96.8%
税金等調整前当期純利益	422	409	96.8%
法人税等合計	127	139	108.8%
当期純利益	295	270	91.7%
非支配株主に帰属する当期純利益	18	21	116.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	276	249	90.0%

03

2024年 3 月期業績予想



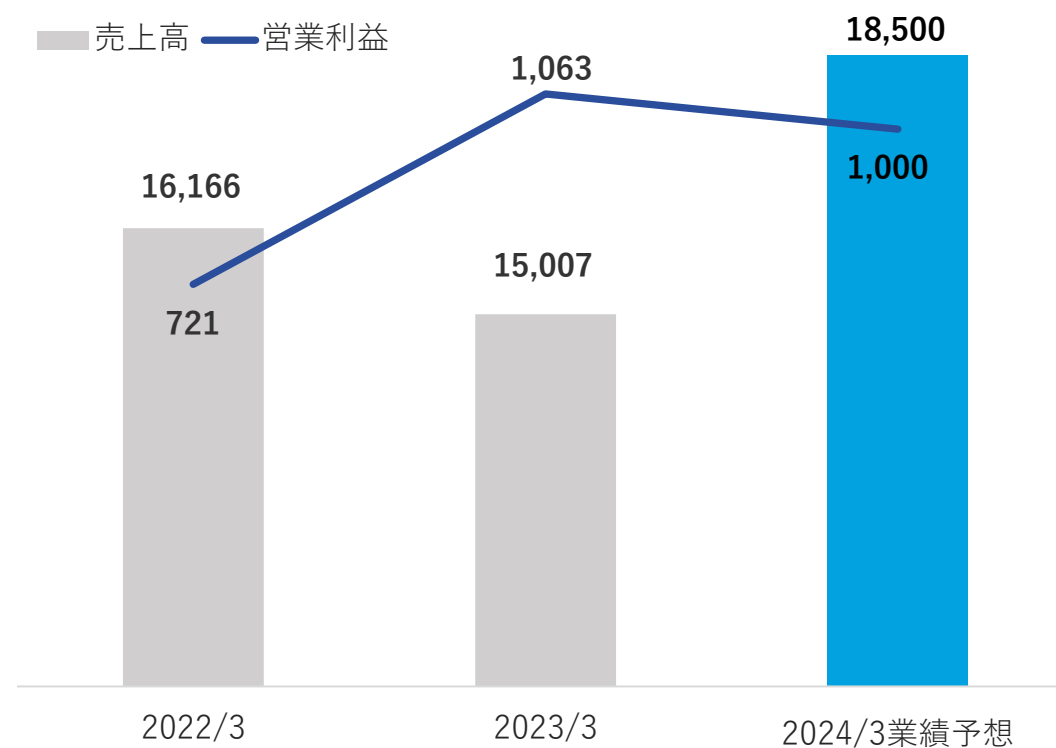
第2四半期累計期間では各段階利益で当社修正予想を上回るも 通期予想は据え置き

通期予想

売上高 : 18,500 前期比 : 123.3%

営業利益 : 1,000 前期比 : 94.0%

第2四半期累計期間では当社修正予想を上回るものの、収益化の
下期偏重、当初から見込む更なる事業の成長を図るための投資の
実行が下期に実施予定であるため、通期予想については一旦据え置き
としております。



04-1

セグメント別概況

(メモリ・PC関連デバイス・IoT)

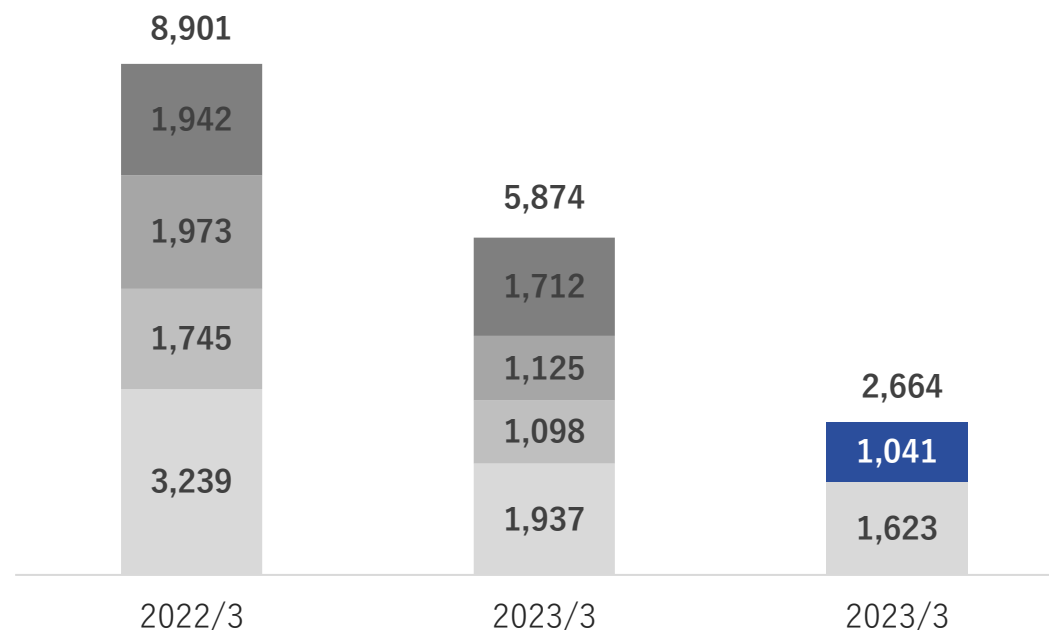


2Q単期については前年同期と同様の水準を維持

- コロナ禍及びウクライナ危機及び米欧州並びに中国等のマクロ経済環境の変動等の影響から引き続き部材の調達環境などへの注視が必要
- 法人向けや産業用製品の需要は回復しつつあり、長納期化対策への対応を推進し、販売機会の拡大を図る
- PC需要の落ち着きに伴い、メモリ関連製品の売上高が前期に比べ減少
- B2C向け商品の拡充を更に推進し、販路の多様化及び利益の獲得構造の多様化を図る
- 一次産業向け等のIoT関連製品の開発を推進し、新たな事業の柱としての育成を更に推し進める

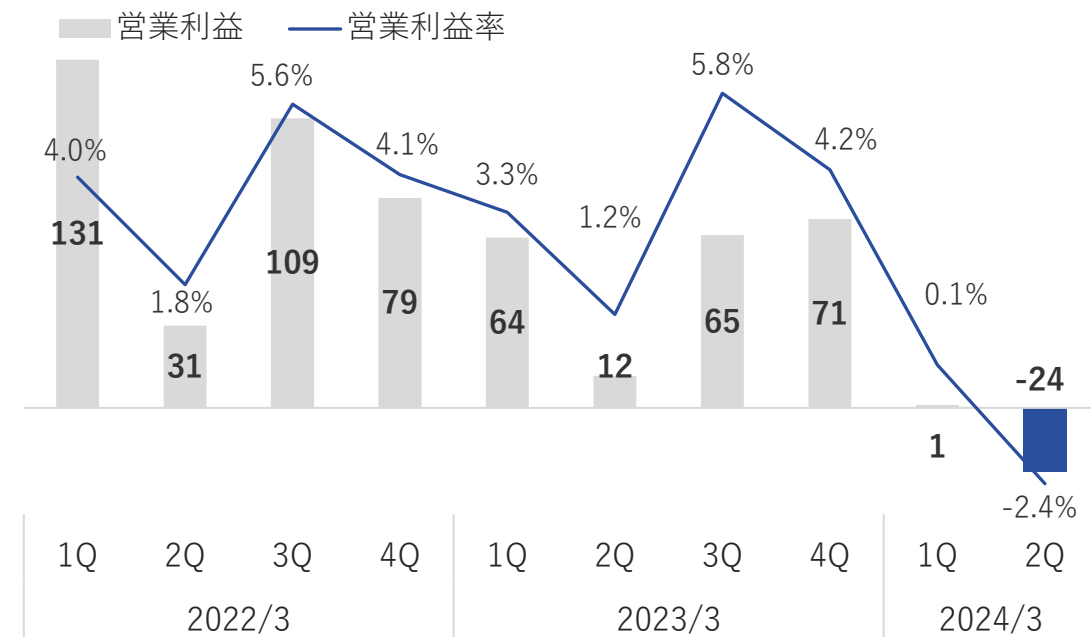
売上高

■ 4Q ■ 3Q ■ 2Q ■ 1Q

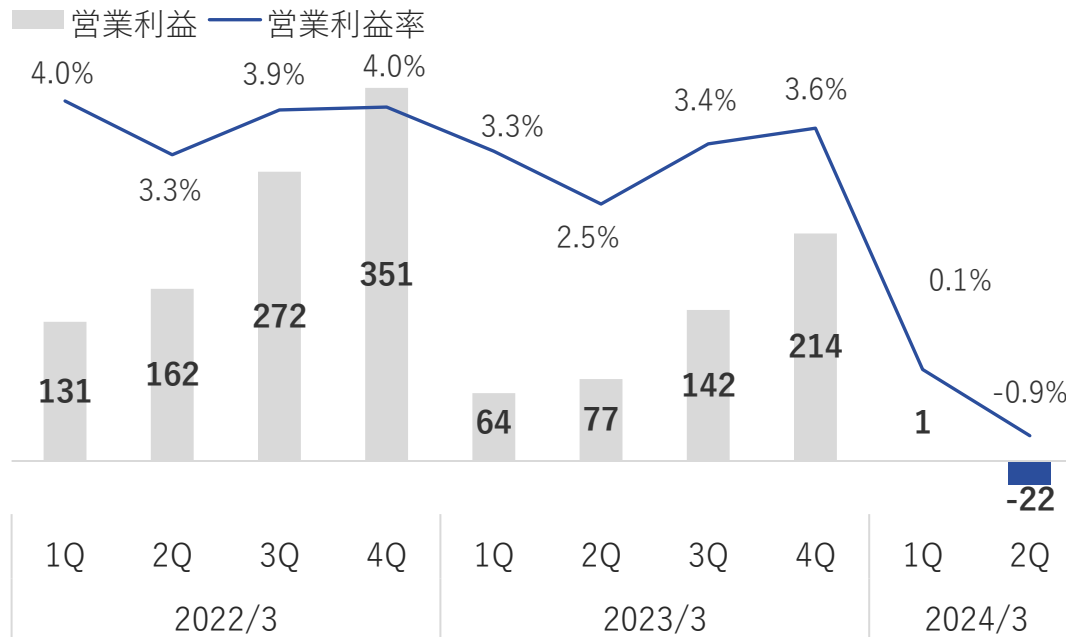


一時的な減益も、収益構造の見直しによる回復を図る

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



- PC需要の落ち着きに伴い、メモリ関連製品の獲得利益が減少
- 部材の調達難などにより電子部品の取得原価が高騰。代替品を利用したため、利益率の低下が発生
- サプライチェーンの滞留による部材の調達への制限が継続し、購入需要を全て消化しきれていない環境は継続している
- 新製品の開発及び既存事業を活用した新ビジネスモデルの構築により収益獲得構造の見直しを推進
- 新規商材の検討・調達のための先行投資及び新製品の開発のための販管費の増加等により、当Qでは減益

「第28回かわさきロボット競技大会」をスポンサーとして協賛

～ものづくり人材の育成、そしてさらに未来への飛躍に貢献～

「アドテック賞」受賞者

2023年8月27日（日）に開催されました「第28回かわさきロボット競技大会(以下、かわロボ)」に協賛をし、今年の「アドテック賞」は、芝浦工業大学SRDCチームに贈らせていただきました。

当社は「新たな価値を創造するソリューションカンパニー」として「若者のものづくり登竜門」といわれる「かわロボ」への協賛を2022年より行っております。

ハイレベルなチームが切磋琢磨する「かわロボ」に協賛することにより、「ものづくり人材の育成」に貢献することを目的としております。あわせて、本大会への協賛を通じて、本大会の開催目的に寄与し、地域社会・地域住民への貢献も図ってまいります。

大会概要

「かわさきロボット競技大会」は、脚・腕構造を持つラジコン型ロボットによる異種格闘技戦です。本大会は、総合技術的なロボットの製作に携わることによる具体的なものづくりを体験する場を提供し、次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を図ることを目的に1994年から開催されております。機体の設計から製作まで一連の過程に関わることで、様々な知識と技術が備わることから”ものづくり登竜門”として親しまれ、今回で28回目を迎えることができました。

▼授賞式の風景



▼試合風景



▼会場風景



かわさきロボット競技大会
KAWASAKI ROBOT Festival

▼ホームページ

<https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/robo/>
（「かわロボ」で検索）

直感型LEDにAIカメラと通信機能を搭載した 次世代防犯カメラの開発を支援

既存のLED照明管との交換
により容易に設置可能

株式会社MASS（<https://k-mass.jp/>）のリアルタイム防犯カメラ搭載LED照明【LED-AI】（<https://www.led-ai.jp/>）の開発支援を実施いたしました。

本製品は、既存のLED照明と取り換えるだけ（電気・配線工事のコストが不要）で、店内や車両内などの様子について、リアルタイムで見守りが可能です。

既存の照明設備を活用し、汎用性高く設置が可能なため、更なる事業展開を推進。

本製品の開発により、現在取り組んでいる当社事業への展開も含め、協業ビジネスの拡大を進めております。

特許申請・取得済

リアルタイム防犯カメラ搭載LED照明

 **LED-AI**

これからは、LED照明で防犯対策。

リアルタイム
ストリーミング対応

G13、GX16t-5の
口金対応

Wi-Fi 4/5/6
+4G対応
(新旧規格対応)



新発想のビジネス提案
MASS

04-2

セグメント別概況 (通信建設テック)

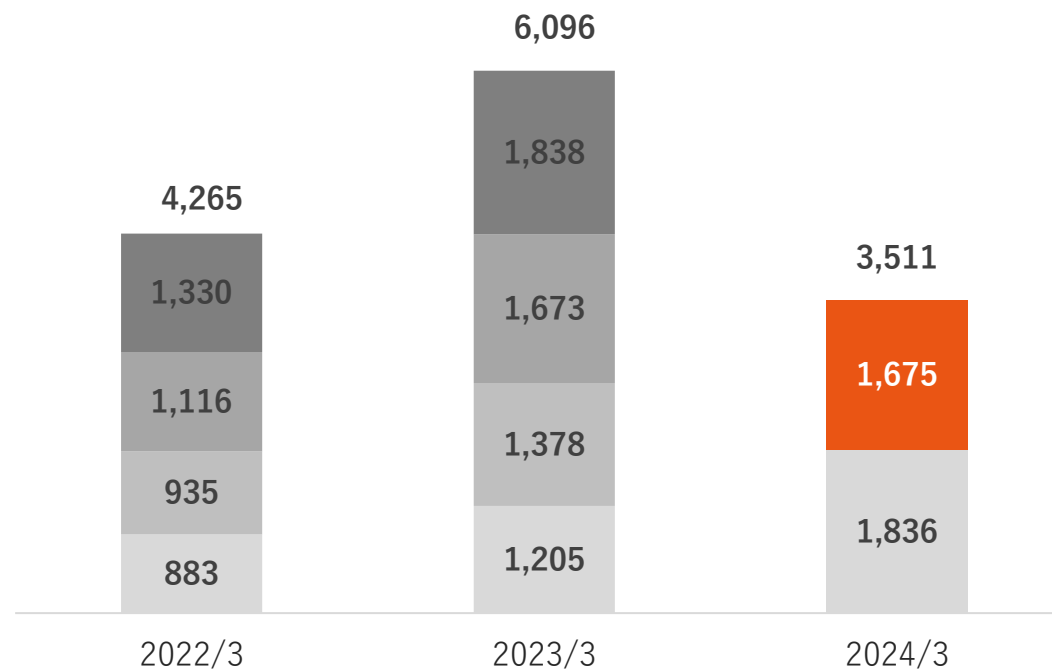


引き続き好調を維持、2Q単期及び累計で過去最高の売上高を達成

- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事が引き続き堅調、通信建設工事の完工件数も高水準を維持
- コンタクトセンター事業において各種新規案件の獲得を推進し受注件数が伸長
- 既存事業の収益化及び新規案件の開拓を推進することで、更なる成長を図る方針

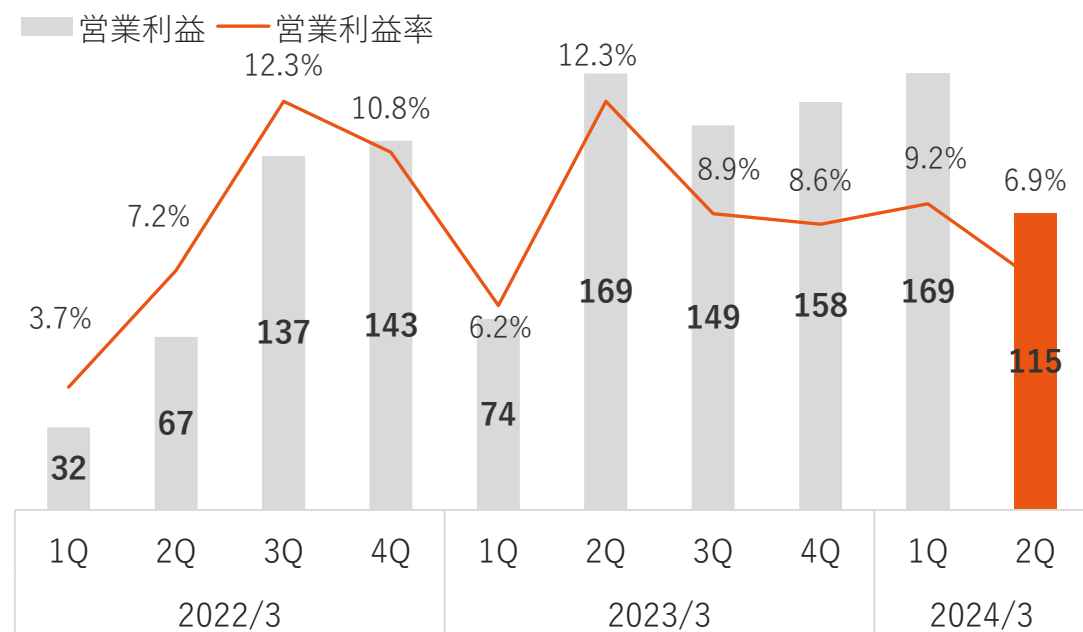
売上高

■ 4Q ■ 3Q
■ 2Q ■ 1Q

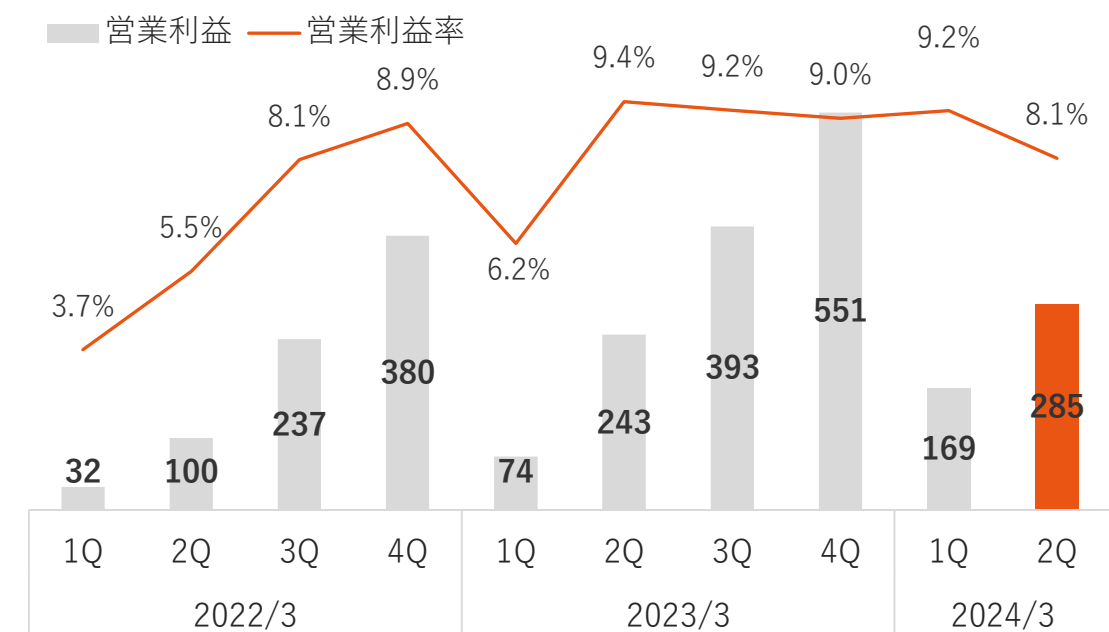


売上高と同様、引き続き好調を維持し、 2Q累計として過去最高益を達成

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事を中心に各種通信建設工事の完工件数が増加
- コンタクトセンターの稼働ブースの適正化により効率化を推進し、収益を良好に確保
- 広告宣伝の実施及び事業推進体制の拡充等により、一時利益率が低下

プレスリリース 2023.09.13

2023年9月12日に「新CM発表会」を実施 池田美優（みちょぱ）さんと平成ノブシコブシ吉村崇さんが登壇

新CM発表会の様子



キービジュアル&CM



プレスリリース 2023.09.12

「なぜか、すごい。バディネット」プロジェクト始動。 バディネットと電気通信工事業界をオープンに。

なぜか、すごい。
バディネット



①新CM2本公開中

「なぜか、すごい。バディネット。始動編」

<https://www.youtube.com/watch?v=QCoV44vacKc>

「なぜか、すごい。バディネット。活動編」

<https://www.youtube.com/watch?v=eU1qQZGmk7E>

②YouTubeコラボ企画

みちのけTV × 6 Buddy Net



③2023プロモーション 特設サイト公開中

▼バディネットがなぜ凄いかの秘密はコチラから

<https://buddynet.jp/nazekasugoi/>

プレスリリース 2023.09.14

株式会社インターネットイニシアティブの スマート農業実装検証に参画

真穴共選のみかん畑240ha全体をカバーするIoTネットワークLoRaWAN（R）を施工



【プロジェクトの概要】

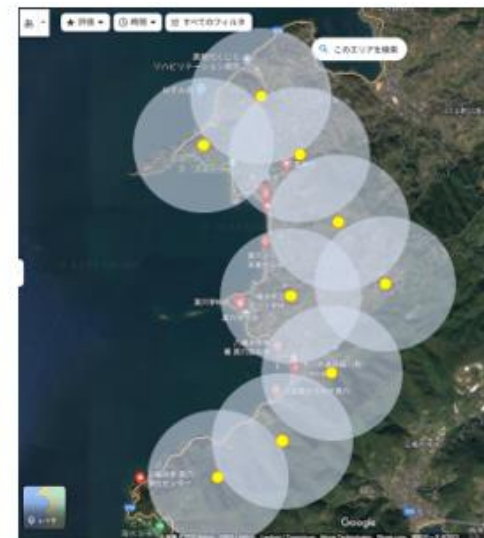
■実装検証期間：2023年8月～2024年2月

■実装検証フィールド
愛媛県八幡浜市真穴地区

■目的

- 1.低コストでみかん栽培の高度化を実現し、収量および収益向上に寄与する
- 2.果樹栽培におけるスマート農業ノウハウを獲得し、愛媛県全体、さらには他地域の果樹栽培にも横展開できるモデルを構築する

設置イメージ



アルコールチェック代行サービスで、アルコールチェック管理（検知）システムを提供する2社とのサービス連携を発表

プレスリリース

2023.10.23

ナビスピドットコム株式会社とサービス連携



プレスリリース

2023.11.8

トリプルアイズ株式会社とサービス連携



株式会社パイ・アールとのサービス連携（2023年4月）に続き、新たに上記2社とのサービス連携を実施

これにより、様々な検知器やアルコール管理（検知）サービスに対応したワンストップでの代行対応が可能となり、より多くの顧客へ安価で品質の高いサービスを提供できるモデルを実装

2023年12月1日施行の道路交通法改正に向けて、他事業者様との更なるサービス提携を予定しており、「どんな検知器でも」「どんなシステムでも」ワンストップで対応できるアルコールチェック代行サービスを目指していく

お知らせ

2023.10.26

特定建設業（電気通信工事業）の東京都知事許可を取得し、より大規模な通信建設工事の請け負いが可能に

建設業の許可票			
商号又は名称	株式会社 バディネット		
代表者の氏名	代表取締役社長 堀 礼一郎		
一般建設業又は 特定建設業の別	許可を受けた 建設業	許可番号	許可年月日
特 定	電気工事業	東京都知事許可 (特-5)第140501号	令和5年8月30日
特 定	電気通信工事業	東京都知事許可 (特-5)第140501号	令和5年10月20日
この店舗で営業 している建設業	電気工事業、電気通信工事業		

許可番号：東京都知事 許可（特－５）第１４０５０１号

許可の有効期間：令和５年１０月２０日から令和１０年１０月１９日まで

建設業の種類：電気通信工事業

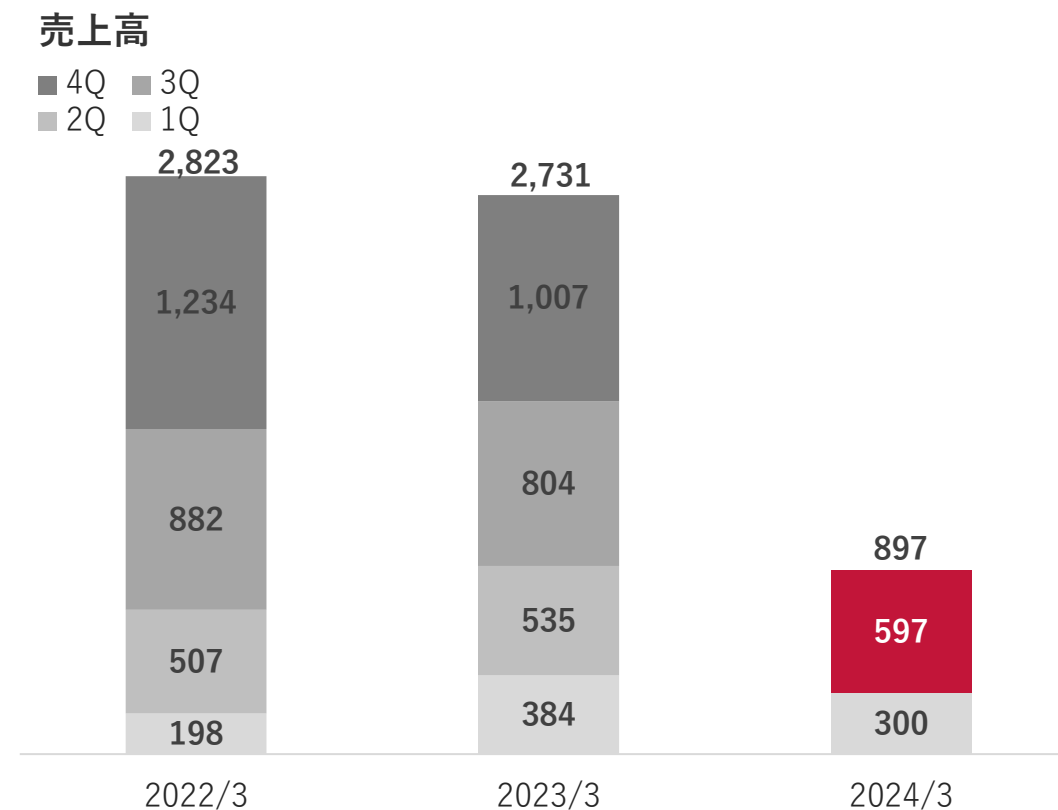
04-3

セグメント別概況 (HPC事業)



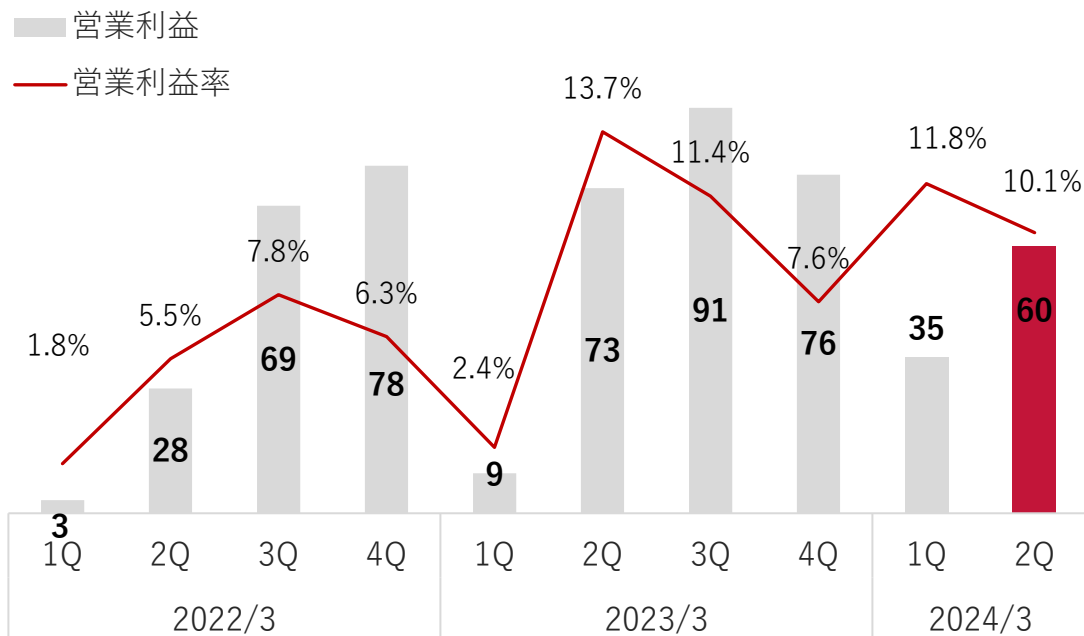
堅調に売上を積み上げ、2Qとして過去最高の売上高を確保

- 拠点増設、営業人員の確保及び販売力強化を推進し、
更なる収益力の向上に努める
- コロナ禍の影響により減少していた学会の再開が進み
対面販売の機会が増加、更なる売上の拡大を推進

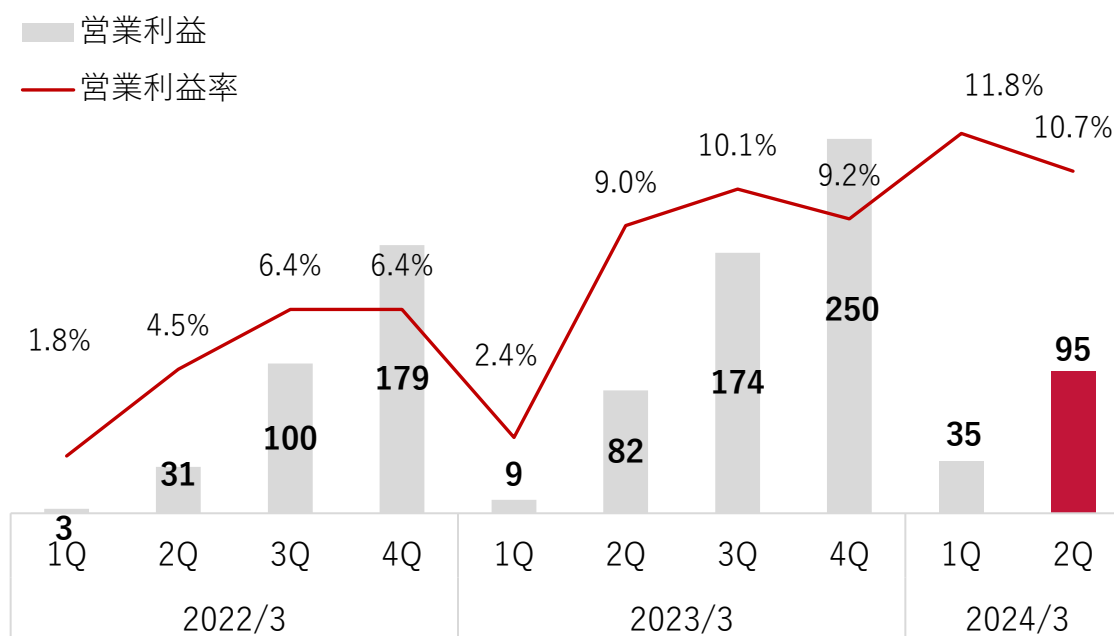


2Qとして過去最高益を達成、順調に利益を確保

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



■ コロナ禍及びウクライナ危機による部材の調達難及び原価の高騰並びに円安の影響により、利益率の確保に関し懸念点があったものの、部材の先行取得及び付加価値の向上を進める事により、好調に利益を獲得

■ 学会の再開による対面販売機会が増加、キャンペーンカタログ等の販売ツールの充実を促進し、対面販売による収益機会の獲得向上に努める

学会・展示会への参加が増加 対面営業の機会も拡大

コロナ禍の影響によりこれまで学会・展示会の開催が減少していたが、5 類への移行により開催が増加傾向にあります
得意とする対面営業・自社製造のメリットを十分に活かし、更なる販売機会の拡大を図って参る方針です

学会・展示会への参加
【機器展示】
(第2四半期実績)

日本機械学会 M&M2023 材料力学カンファレンス 2023年9月実施

日本流体力学会年会2023 2023年9月実施

第17回分子科学討論会 2023大阪 2023年9月実施

第12回生命医薬情報学連合大会 IIBMP2022 2023年9月実施

第40回センシングフォーラム 2023年8月実施

第42回日本医用画像工学会 (JAMIT2023) 2023年7月実施

画像の認識・理解シンポジウム MIRU2023 2023年7月実施

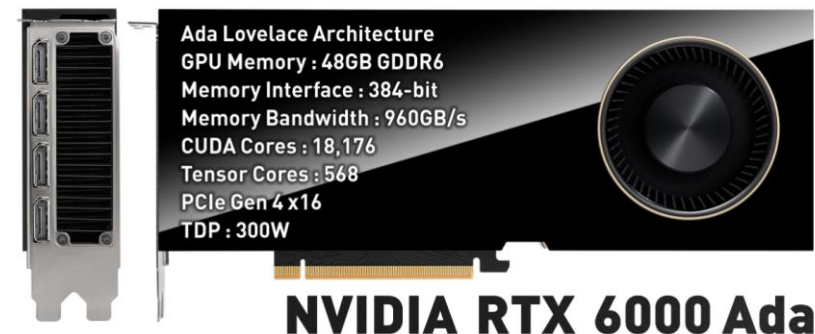
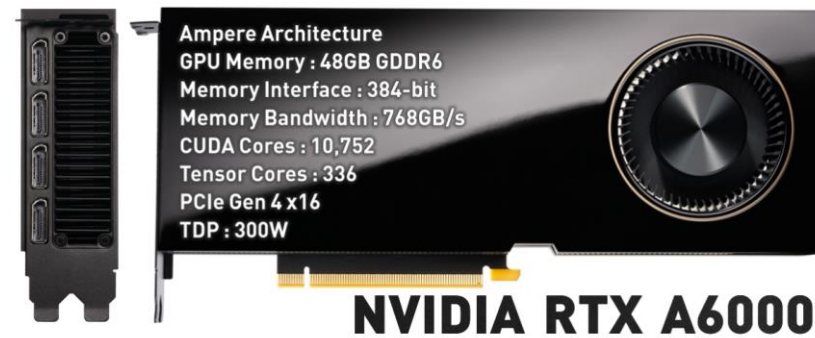
販売キャンペーンを実施

NVIDIA RTX A6000、RTX 6000 Ada アカデミックキャンペーン

教育研究機関向けに、NVIDIA RTX A6000、RTX 6000 Ada の販売キャンペーンを実施

対面営業を中心に、自社生産方式のメリットである充実したアフターフォローの提供により、他社との差別化を図り、さらなる販売機会の拡大を推進

アカデミックキャンペーン



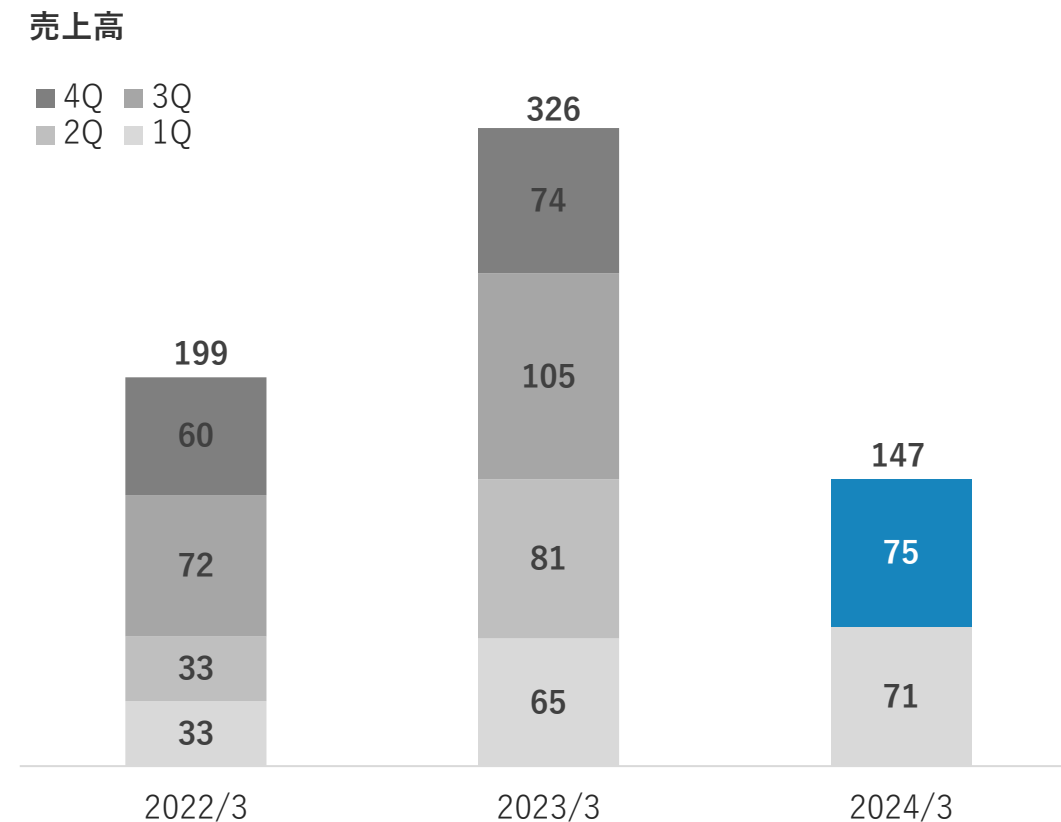
04-4

セグメント別概況 (その他事業－旅館事業－)



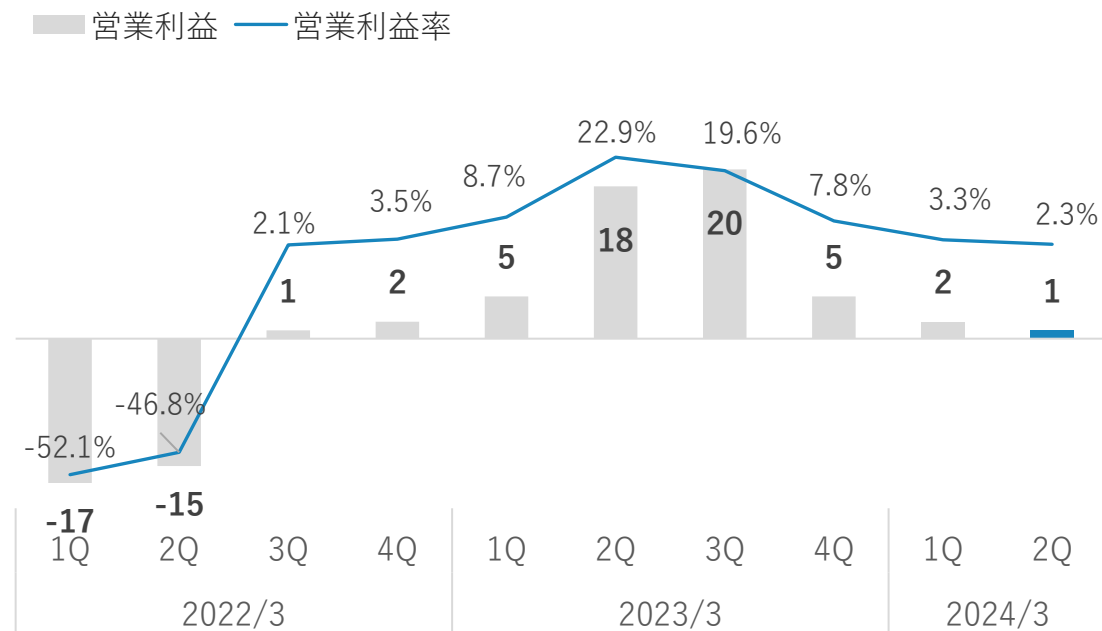
猛暑の影響により売上が伸びなかったものの堅調に確保

- 猛暑の影響により夏季休暇期間の売上が、想定ほど確保できず
- 今後もコロナ禍の影響の存在が否めないものの、行政による観光対策の活用、広告等集客施策の効果的な利用により新規顧客を獲得するほか、リピート客の更なる掘り起こしにより、安定的な収益の獲得に努める
- 客単価の上昇、顧客満足度の向上に繋がる施策を展開することで客室回転率を上げ、売上の向上を図る方針

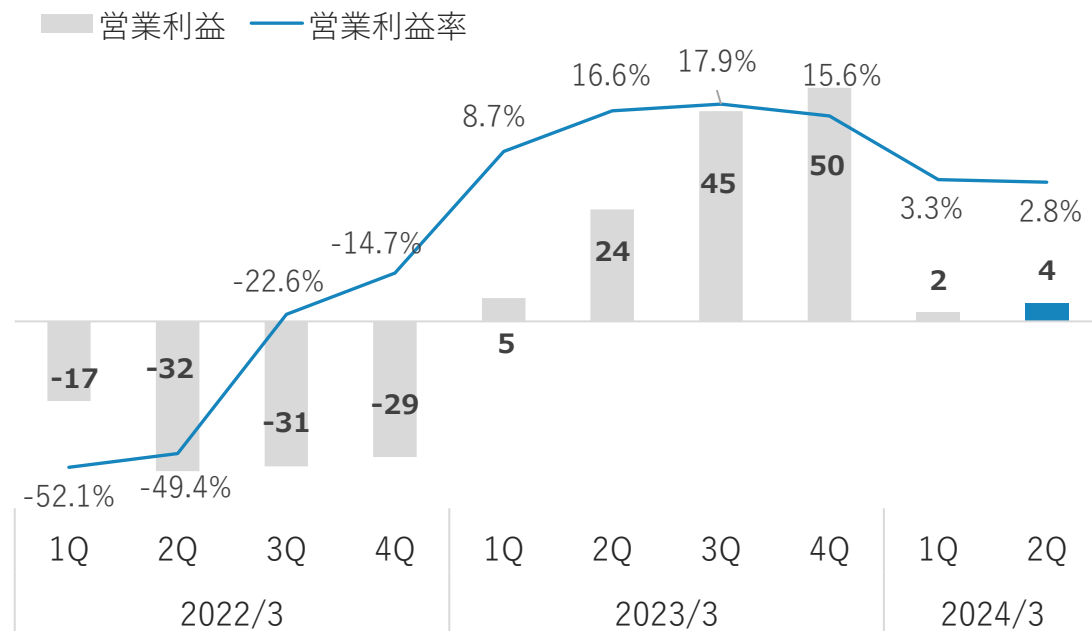


猛暑の影響により集客が想定通りに進まず、収益環境が一時悪化

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



- 夏季休暇期間が想定外の猛暑で有ったため、当初の予定通りの稼働を得られず、集客費用及び改修に伴う費用の計上がかさみ収益が一時的に悪化
- 改修により露天風呂付客室を増加。屋外・屋内ドッグランを改修し、顧客満足度の向上を図る
- 追加オプションによる収益機会の多様化により、収益環境を改善

ペット同伴可能な宿泊施設として、他の宿泊施設と明確な差別化を図った事業



経験を積んだスタッフによるサービス

お客様の大切なペットに、ストレス無く過ごしていただける様に、十分な研修・経験を積んだスタッフによるおもてなしをご提供



ペット専用メニューをご提供

鬼怒川の名産品を取り入れた、彩りが溢れるペット専用のメニューをご提供



特別室などには愛犬用露天風呂も完備

お客様用の露天風呂の隣に愛犬用の露天風呂を備えた特別室などをご提供。お食事もおやすみもペットとともに過ごせます



ホスピタリティ溢れる接客により、同伴するペットにとっても最高の旅行経験とやすらぎの時をご提供



伝統ある鬼怒川温泉でペットと共に温泉旅行を楽しめる

江戸時代中期に開湯された歴史と伝統のある鬼怒川温泉で、ゆっくりペットと温泉を楽しめる宿泊施設をご提供



格式高い純和風旅館

182平米の迎賓室をはじめ、専用露天風呂を備えたペットと共に過ごす事のできる大型の純和風の客室を多数用意



高付加価値サービスの提供

格安な宿泊施設では得られない、高付加価値サービスを提供することで、他のペット可宿泊施設との差別化を図る

改修工事を進め、収益性・顧客満足の向上を推進



露天風呂付きの客室を増室

人気の高い、露天風呂付きの客室を増室
客単価の向上により更なる収益性の向上を期待



ドッグランをリニューアルし 顧客満足度の向上を図る

室内・室外ドッグランの整備・拡張を進め、
利便性を高める事により、顧客満足度の向上を推進



05

参考資料



商号	株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）
上場市場	東京証券取引所スタンダード（証券コード：6840）
設立	1983年2月17日
資本金	1 億円
事業内容	持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、グループ経営の監査、その他経営管理並びにそれらに付帯する業務
決算期	3月末
役職員数	374名（連結 2023年9月末日）
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-1-17陽光築地ビル Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

役員	代表取締役社長 堀 礼一郎 取締役 会長 馬場 正身 取締役 CFO 管理本部長 五十嵐 英 取締役 管理本部副本部長 富山 理布 取締役 グループ監査室長 後藤 憲保 取締役（社外） 丸山 一郎 取締役（社外） 黒部 得善 取締役（社外） 後藤田 翔 常勤監査役 内藤 城次郎 監査役（社外） 石本 圭司 監査役（社外） 西田 史朗 監査役（社外） 中川 英之 補欠監査役（社外） 藤浪 努
会計監査人	KDA監査法人
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

1980年代	1983.2	株式会社アドテックを設立（商号変更により現「株式会社AKIBAホールディングス」）
1990年代	1993.6	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
	1998.11	日本証券業協会に株式を店頭登録
2000年代	2004.12	ジャスダック証券取引所（東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2010年代	2013.5	株式会社エッジクルー（現 連結子会社/株式会社アキバデバイス）を設立
	2015.1	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収
	2015.10	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
	2016.3	iconic storage株式会社を買収
	2017.1	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
	2019.7	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
2020年代	2020.5	株式会社ダイヤモンドペット&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
	2020.10	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン
	2020.10	株式会社バディネットが株式会社トランセンエンジニアリングを買収
	2021.4	株式会社バディネットがiconic storage株式会社と株式会社トランセンエンジニアリングを吸収合併
	2021.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収
	2022.4	東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行
	2022.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を吸収合併
	2022.11	株式会社バディネットが株式会社リーバン（現 連結子会社）を買収
	2022.12	株式会社エッジクルーから株式会社アキバデバイスに商号変更

Business Domain

DXを次のステージへ

先進的なサービスを有するビジネスが集結

AKIBAホールディングスグループは多様なカテゴリーで社会全体のDX推進に取り組み発展させていきます。

